

街かど

さわやかな

歌声

コーラスグループ 「水曜会」

今号は、コーラスグループ「水曜会」に登場してもらいました。「水曜会」は、昭和四十二年の秋に結成され、現在まで十二年間も毎日、第一と第三水曜日の午前中、立仏公民館でコーラスの練習をしています。現在、会員は約二十名で立仏、山田、寺地にお住まいの主婦の方が中心です。会の発足からの指導にあたられているのは、黒埼中学校で音楽の先生をされていた奥村駿太郎さんです。「奥村先生が熱心だから、私たちが用事をやりくりして参加するようにしています。だからこ

んなに長い間続いていると思えます」と会員の渡辺厚子さん。

奥村さんは、「人数がもつと多くなれば迫力のあるコーラスができるのですが」とたくさんの参加者を待っているようです。また、「歌というのは楽しむことが一番ですからね」と何よりも楽しめることが目的ということでした。

コーラスの練習が終了すると、お茶の時間。いろいろな話が飛び交います。「町にも音楽の施設が欲しいですね」と中尾礼子さん。これは、会員全員の意見みたいでした。

水曜会への参加希望の方は左記へどうぞ。
奥村駿太郎宅 ☎七二二九六五

水曜会のみなさん



俳句

月になれし新樹緑の濃さをまし
夏至近し障子も白き夜明かな
つゆ晴れひと時白藍ながれ雲

大野町 老婦



街かどでは、皆さんの写真、絵画、イラスト、短歌、俳句、随筆などの作品や、団体、クラブなどの活動状況、要望、エピソードなどの投稿（八百字以内）をお待ちしています。

投稿 連絡先

黒埼町役場 企画調整課

黒埼町大野二八四三二一

☎ 七二二〇一

移動音楽教室に行つて

熊木 百合子
(黒鳥小六年)

六月十一日の移動音楽教室を見学した黒鳥小学校の熊木百合子さんの感想文を紹介します。

げん楽器をひいている、げんを見ていると、みんながよくそらつていてびっくりしました。また、その手は上に行ったり下へ行ったりとてもいそがしいように思えました。

大だいこがなり出すと、床の下から「ドンドン」となりひびいてきて、とても力強く感じました。

小だいいは、演奏者の手がとてもはやく動くのにおどろきました。管楽器は、なめらかな音を出しているの管楽器とは思えませんでした。げん楽器に管楽器が加わると、雄大に迫ってくる感じでした。

もつ管楽器は、小鳥の鳴き声みたいに聞こえました。とてもかわいい音です。指揮者は、演奏している音楽の中に入っているかのような感じでした。

汗びつしよりでやっていたました。とてもいっしょうけんめい全身を使つてやっていたんだな。と思わずにはいられませんでした。

前半の「運命」が終わるまで、自分を忘れて見入っていました。演奏者は、いつも楽符をいっしょうけんめい見ていることにおどろきました。

音楽の中でもよかつたのは、六番目の仮面ぶどう会からです。

「ロマンス」は、森の中を思わせる静けさがあり、「湖」には、動物たちが楽しく遊んでいるようにすが目うかんできました。「ワルツ」は、すてきなドレスを着た

人たちが、踊っているように感じました。「ギャロップ」はある公園で二人の男の人が勇ましくけんていで戦っている場面のようでした。一曲一曲が終わるたびに、後ろにいる中学生の方から、すごい拍手がわきあがり、びっくりしながら拍手をしていました。やっぱり「生の演奏」は他では聞けない迫力を感じました。もういちどはじめから聞きなおしたい気持ちになりました。また演奏会を見学したいです。だから待つような気持ちになりました。

音楽のとりこになったような感じでした。